

1：国（文科省）の方針
 ・予測困難な社会を生き抜くための「生きる力」を育て21世紀型能力の育成
 ・学習指導要領の完全実施にむけて「確実なアクション」の要請

2：静岡県の方針
 ・「有徳の人」の育成
 誰一人取り残さない教育の実現

3：御前崎市の方針
 ・「郷土を愛し、未来を創る人づくり」
 ①生きていく力の基礎の育成
 ②変化の激しい社会を生き抜くための資質・能力の育成
 ③可能性に挑戦できる教育環境の整備
 ④心と体を支える安全で魅力ある学校給食の提供

保護者・地域の願い
 ・安心安全で楽しく通う学校
 ・確かな学力の定着
 ・思いやりなど人間関係の醸成
 ・自ら行動する主体性の育成
 ・地域の活性化

児童の実態
 ○高学年がリーダー性を発揮
 ○得意、好きな事への意識
 ○行事・はばたきに意欲的・協力的
 ○仲間と活動できる協調性・協力的
 △受け身で人任せな面がある
 △創造力、チャレンジ力が弱い。自分の考えを主張する力が弱い
 △あさしおごはんの意識



令和5年度 御前崎市立白羽小学校グランドデザイン

学校経営方針 安全安心 人権尊重

学校経営目標 5つの「きょういく」
 今日育 教育 共育 郷育 (環)境育

学校教育目標「自ら学ぶ人」

白小公認キャラ
 しろなみさん



重点目標	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	達成目標		
	学期	1 学期					2 学期					3 学期				
生徒指導	目標	ルールを守り居心地の良い学級づくり					自分らしさを生かして伸ばそう					成長の自覚と次へのステップアップ			4段階でのA評価	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 学級での居場所をつくる 「みんなの約束」「あさごはん」「学習ルール」を守る 自他のかがやき（よさ）を見つける 特別支援教育の考えをもとに、合理的配慮がなされた環境の中で、違いを受け入れる寛容な雰囲気を作る 「勇気づけのボイスシャワー」を教師も子供も年間を通して実施 「人間関係づくりプログラム」の実施					<ul style="list-style-type: none"> 自分らしさや力をみんなのために生かして伸ばす 目指す姿を共有し、授業や学年、学級行事を通して主体的活動する 学級の仲間を大切に思い、温かく受け入れられる雰囲気をつくる 年間を通して人間関係づくりの基礎的な力を身につけていく					<ul style="list-style-type: none"> 目指す姿を振り返り、成長を自覚して主体的に活動する 成長を支えてくれた人、場所、物に感謝の気持ちを表現する 成長の変容を引き継ぐ			学校は楽しい 65% 授業がわかる 60%	
学びづくり	目標	対話の仕方を身につけよう					対話の仕方を充実させよう					対話を通して自分たちで課題を解決しよう			授業に主体的に取り組んでいる 50%	
校内研修	研修主題	研修主題：子供自身が学びを実感する授業 ～教師が子供の学びをファシリテートする授業～													授業に主体的に取り組んでいる 50%	
仲間づくり	目標	「自分のよいところを知ろう」					「自分の力を伸ばそう」					自信をもって次年度へつなげよう			自分で何かするのは楽しい 80%	
主要行事	行事	始業式	遠足	浜の子運動会	終業式	始業式	授業	野外学習	修学旅行	浜の子発表会	始業式	6年生を送る会	修了式	信頼できる先生がいる 75%		
教育方針 ①授業で ②学年学級で ③行事、活動で 子どもの自信（自己肯定感）を育てる 信頼される頼もしい職員集団となるための行動指針																
【安全安心】 危機管理、危険予知で学校への信頼を 教育活動の安心安全を常に保ちます 【人権尊重】 認め合える温かなボイスシャワーを注ぎ、愛情いっぱい関わります 【親愛関係】 子どもの居場所となり、活動のエネルギー源となる学年学級づくりをします 【自己研鑽】 学びの実感がある授業づくりに向け、絶えず自己研鑽をします											【責任協働】 責任感と協働性を持ち、組織の一員として行動し、白羽小を高めます 【業務改善】 小さなエネルギーで大きな効果を生む業務の改善を図ります 【適正服務】 子どもの手本となり、保護者、地域の信頼となる適正な服務・勤務に努めます				①タイムカードで勤務状況の把握 ②支援員の効果的配置と活用 ③ICTの効果的な導入と活用 ④見通しを持った業務の運行 ⑤できることから改善・削減	白羽小の教育に満足 60% 家庭や地域での挨拶 60%